

令和7年度 学校教育自己診断結果

大阪府立大阪北視覚支援学校

1 回収率について

昨年度回答率が低値であったので、今年度各学部において児童生徒、保護者に回答を呼びかけた。その結果、昨年度より回答率は増加したが、依然高等部普通科及び専攻科の生徒の回答率が低い状況であった。任意であるという認識が強いのかと思われるが、今後は、学校教育自己診断の意味を伝え、回答を促す必要がある。

児童生徒	45.7%	(昨年度30.3%	15.4%増)
保護者	81.8%	(昨年度45.3%	36.5%増)
教職員	93.2%	(昨年度92.0%	1.2%増)

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
-----	----	-------------	----------	----------	----------	---------

2 児童生徒

(1) 学校について						
①	学校は楽しい。	94	6	90	10	4
②	学校は安心して過ごせる。	94	6	—	—	—
【校長コメント】 幼児児童生徒が安心して笑顔で過ごせる学校をめざしています。						
(2) 授業について						
①	先生は、わかりやすいよう工夫して教えてくれる。	100	0	100	0	0
②	授業を受けて、その内容に興味・関心を持つようになった。	81	19	60	40	21
③	先生は、授業でよくICT機器を活用している。	75	25	50	50	25
④	先生は、自分のがんばりを認めてくれている。	88	12	—	—	—
【校長コメント】 ICTを活用して主体的な学習で確かな力をつけていきます。						
(3) 先生について						
①	先生は、わたしたちのことを大切にしてくれている。	100	0	100	0	0
②	先生は、わたしたちのことをわかってくれている。	75	25	100	0	-25
③	先生は、話を聞いてくれる。	100	0	100	0	0
④	先生は、困ったときに気軽に相談できる。	69	31	100	0	-31
⑤	先生は、やさしい言葉づかいで話をしてくれる。	94	6	90	10	4
【校長コメント】 児童生徒のことを理解し、困ったときに気軽に相談できる関係作りが課題として出ています。この点の改善に勤めます。						
(4) 進路について						
①	先生は、将来について考えさせてくれる。	94	6	88	12	6
②	先生は、さまざまな進路情報を教えてくれる。	75	25	75	25	0
【校長コメント】 進路部だけでなく学部全体でキャリア教育を進めます。						

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
(5) 道徳・人権について						
①	先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	88	12	75	25	13
②	先生は、自分や友だちを大事にすることを教えてくれる。	88	12	88	12	0
③	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	88	12	100	0	-12
【校長コメント】 人権を守ることの大切さを教え、いじめのない学校にします。						
(6) 防犯・防災について						
①	先生は、地震や火事、不審者が入ってきたなどの緊急事態が起こった時、どうしたらよいかを教えてくれる。	100	0	92	8	8
②	先生は、健康について保健だよりなどで話をしてくれ、運動や体育、クラブ活動などで健康に対する意識を高めてくれる。	88	12	—	—	—
【校長コメント】 今年度は訓練のほかに全校的に防犯・防災教育を行っています。						
(7) 行事・他校との交流について						
①	文化祭、校外学習、宿泊行事などは楽しい。	91	9	100	0	-9
②	ほかの学校の人たちとの交流を楽しみにしている。	82	18	71	29	11
【校長コメント】 子どもたちの活躍の場をどんどん作っていきます。						
(8) 情報について						
①	学校のホームページ・ブログやマチコミメールや、学部だよりなどを見聞きしている。	82	18	67	33	15
【校長コメント】 学校の情報をホームページやブログで発信していきます。						
(9) 学部間の交流について						
①	他学部の幼児児童生徒との交流がある。	63	37	—	—	—
【校長コメント】 幼児から専攻科の大人まで、少ない人数を年齢を超えた交流でカバーしていきます。						
(10) 寄宿舎について						
①	寄宿舎では安心して楽しい生活が送れている。	100	0	—	—	—
【校長コメント】 楽しく安心して生活できる寄宿舎であり続けるよう努めます。						

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
-----	----	-------------	----------	----------	----------	---------

3 保護者

(1) 学校全般について						
①	幼児児童生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	87	13	94	6	-7
②	幼児児童生徒は、学校で安心して過ごしている。	100	0	—	—	—
③	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	58	42	71	29	-13
④	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	87	13	83	17	4
⑤	学校の施設・設備は学習環境面の改善に努めている。	42	58	53	47	-11
【校長コメント】 校長のリーダーシップが発揮されていないというのは反省すべきところです。また学校設備の老朽化はまったなしの状況です。早期の建替えに向けて進めていきます。						
(2) 学習指導について						
①	幼児児童生徒は、授業がわかりやすく楽しいといっている。	94	6	94	6	0
②	教職員は、授業の改善に取り組んでいる。	94	6	—	—	—
③	学校は、授業でICT機器をよく活用している。	65	35	73	27	-8
④	授業の中で、様々な感覚を使う取り組みを行っている。	90	10	—	—	—
⑤	教職員は、個別の教育支援計画を保護者とともに作成している。	94	6	100	0	-6
⑥	職員は、個別の指導計画を示して説明し、幼児児童生徒の学習状況や努力を適切に評価している。	94	6	100	0	-6
【校長コメント】 ICTの活用は進んできていますが、家庭での一人一台端末の活用が少ないこともあり低くなっているのかもしれませんが。						
(3) 幼児児童生徒指導・理解について						
①	教職員は、幼児児童生徒の実態に応じた教育活動に取り組んでいる。	87	13	100	0	-13
②	教職員は、幼児児童生徒の障がいについて理解している。	94	6	93	7	1
③	教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。	100	0	87	13	13
【校長コメント】 引き続き幼児児童生徒の障がいの理解に努めます。						

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
(4) 進路指導について						
①	学校は、将来の進路についての希望を懇談等で聞き取り、見通しを持った指導を行っている。	81	19	94	6	-13
②	学校は、幼児児童生徒の自立に向けて、自主性や社会性をはぐくむ教育活動を行っている。	94	6	94	6	0
【校長コメント】 キャリア教育を進め、一人ひとりに合った進路選択に努めます。						
(5) 道徳・人権教育について						
①	学校は、幼児児童生徒に対して、発達段階や実態に応じて、生命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	100	0	100	0	0
②	学校は、幼児児童生徒に対して、発達段階や実態に応じて、人権を尊重する意識を育てようとしている。	94	6	100	0	-6
③	学校は、いじめについて幼児児童生徒が困っていることがあれば真剣に対応している。	100	0	100	0	0
【校長コメント】 引き続き人権が守られ、いじめのない学校を維持していきます。						
(6) 防犯・防災、健康の保持増進、個人情報管理について						
①	学校は、安全に関する指導をしており、防犯教育・防災教育が行われている。	90	10	73	27	17
②	学校は、児童生徒の体力の向上と、健康に対する意識向上に取り組んでいる。	87	13	—	—	—
③	学校は、幼児児童生徒に関する個人情報を守っている。	97	3	87	13	10
【校長コメント】 災害から身を守り、健康の保持と個人情報管理に勤めます。						
(7) 行事・他校との交流・学校参画について						
①	幼児児童生徒は学校行事を楽しみにしている。	96	4	—	—	—
②	学校は、授業参観や学校行事に、保護者が参加しやすいように計画している。	96	4	80	20	16
③	学校は、ほかの学校の幼児児童生徒たちと交流する機会を設けている。	93	7	100	0	-7
④	学校ではPTA活動が活発に行われている。	81	19	93	7	-12
【校長コメント】 様々な行事を通して保護者の皆様のご協力をお願いします。						
(8) 情報提供について						

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
①	学校は、ホームページ・ブログやマチコミメールを見やすいように工夫している。	84	16	94	6	-10
②	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	84	16	83	17	1
③	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	90	10	84	16	6
【校長コメント】 来年度からオンラインを活用した連絡体制を構築していきます。						
(9) 学部・学年間の連携、専門性について						
①	学校は、学部・学年間で連携が行われている。	74	26	—	—	—
②	教職員は視覚障がい教育の専門性を身に着けようと努めている。	84	16	—	—	—
【校長コメント】 少ない幼児児童生徒数を縦の関係作りでカバーしています。また、様々な研修で教職員の専門性の向上に努めています。						
(10) 寄宿舍について						
①	寄宿舍では安心して楽しい生活が送れている。	100	0	—	—	—
【校長コメント】 安全で安心して生活できる寄宿舍にしています。						

4 教職員

(1) 学校運営について						
①	校長は、「学校経営計画」で自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにして、学校運営にリーダーシップを発揮している。	66	34	66	34	0
②	校長は、業務改善と働き方改革を推進している。	68	32	59	41	9
③	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。	66	34	51	49	15
④	保護者に学校の教育方針をわかりやすく伝えている。	72	28	72	28	0
⑤	学校の施設・設備の管理と清掃が行き届いている。	69	31	52	48	17
【校長コメント】 働き方改革において、時間外在校時間、ストレスチェックの値は大きく改善しました。二学期制の導入や業務を可能な限り平準化したのですが、どこかにまだずれがあるものと認識しています。						
(2) 学習指導について						
①	学習指導の内容や方法について、幼児児童生徒の実態に合うように日常的に教職員間で話し合っている。	93	7	95	5	-2

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
②	主体的・対話的で深い学びを取り入れ、授業改善に努めている。	92	8	93	7	-1
③	授業等において、ICT機器を効果的に活用している。	84	16	77	23	7
④	シラバスの作成にあたっては、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	85	15	88	12	-3
⑤	個別の教育支援計画・個別の指導計画は、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、計画・実施・評価・反省を適切に行い、保護者への説明責任を果たしている。	92	8	92	8	0
【校長コメント】 引き続き個に応じた教育活動を続けていきます。						
(3) 幼児児童生徒指導・理解について						
①	幼児児童生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫して指導に当たっている。	96	4	94	6	2
②	生活指導において、家庭や関係諸機関と連携ができています。	95	5	92	8	3
③	幼児児童生徒の障がいを理解し、適切な配慮を行っている。	92	8	92	8	0
④	幼児児童生徒が、学級担任以外の教職員とも相談することができるような教育相談体制が学部で整えられている。	89	11	86	14	3
【校長コメント】 幼児児童生徒の障がいの理解に努め、安心して過ごせる学校にしていきたいです。						
(4) 進路指導について						
①	幼児児童生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるように、考える機会を設けている。	95	5	93	7	2
②	幼児児童生徒が将来の進路や生き方について、キャリアプランニング・マトリックスを活用して見通しを持った指導を行っている。	77	23	88	12	-11
【校長コメント】 幼稚部から高等部まで一貫した教育ができる強みを生かして高等部卒業後に向けたキャリア教育を推進していきます。						
(5) 道徳・人権について						
①	教育活動の中で、幼児児童生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくっている。	96	4	92	8	4
②	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた指導を行っている。	92	8	93	7	-1

No.	質問	R7肯定 (%)	R7否 定	R6 肯定	R6 否定	前年 比
③	いじめや問題事象が起こったとき、迅速に対応することができている。	96	4	91	9	5
	【校長コメント】 幼児児童生徒の人権を守り、ハラスメントのない職場をめざします。					
(6) 防犯・防災、安全、個人情報管理について						
①	学校の諸活動において、安全指導を徹底し、あらゆる場を通して防犯・防災教育を行っている。	91	9	79	21	12
②	学校の諸活動において、体力の向上、健康の維持に取り組んでいる。	92	8	—	—	—
③	緊急事態に対して迅速かつ適切な対処ができるように、役割分担が明確化されている。	87	13	78	22	9
④	幼児児童生徒の個人情報適切に管理されている。	99	1	99	1	0
	【校長コメント】 突然起こる災害や事故に日頃から常に備えています。					
(7) 行事・学校間連携・交流について						
①	学校行事が、幼児児童生徒にとって魅力あるものとなるように、工夫・改善を行っている。	97	3	94	6	3
②	小中・高等学校との校種間連携・交流の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	97	3	76	24	21
	【校長コメント】 少ない在籍数ですが縦の関係や学校間との交流で人と人との繋がりを作っています。					
(8) 情報発信について						
①	教育活動に必要な情報について、配付プリントや学校ホームページを活用し、幼児児童生徒、保護者や地域への周知・情報発信に努めている。	99	1	95	5	4